

群 教 ゼ	G11-06
	平 14.209 集

修学旅行事前学習用資料集 「いざ！鎌倉」の作成

特別研修員 塩野 正幸 (渋川市立北小学校)

《研究の概要》

本研究では、鎌倉修学旅行に向けて見学地を調べる学習で活用するための資料集を Web ページ形式で作成した。本資料集は、主な寺社の見所を「国宝」「景色」等の観点に分け、児童に分かるように簡潔に示した。また、関連人物・寺社建築・仏像等に関する知識のページを設けた。この資料集の活用により児童は見学地について見所を容易に捉えながら理解を深めることができ、見学地で何をみたいかとう見学の視点を明確にもつことができる。
【キーワード：学校行事 鎌倉 修学旅行 事前学習 寺社】

主題設定の理由

本校では、6 学年で鎌倉市を主な見学地とした修学旅行を実施している。事前・事後の学習は「総合的な学習の時間」に位置づけ、事前の調べ学習の中から修学旅行に向けての課題を見だし、実物に触れ学んだことをまとめ発表し合う活動を通して自国理解を深めようとする態度を養うことをねらいとしている。鎌倉市は、鎌倉時代に幕府がおかれ、政治の中心として栄え発展した都市であり、数多くの文化財が存在している。事前の調べ学習の中で鎌倉市の文化財について多くの情報をもとに理解を深め、その価値を明らかにすることが、実際に見て学習したい自分の課題を明確にもつことにつながると考える。

鎌倉市では、寺社を中心とした文化財が多く、調べ学習の対象は、自ずと有名な寺社が中心となる。しかし、鎌倉市の寺社について扱った書籍やインターネットの情報は児童を対象としたものが少なく、記述や内容が理解しにくい。そのため、調べ学習において書籍中の説明をそのまま書き写す児童も少なくない。結果的に現地に行った際、見学地を探すことには熱中するが、見学地に到着後、何を見てよいか分からず無目的に歩き回る児童も見られる。

そこで、鎌倉市で見学地となりそうな寺社について、見所となる文化財の価値を簡潔に示した資料集があれば、調べ学習において見学地を理解する手がかりとなる。さらに、寺社に関する基本的な知識や特別な用語の説明があれば、分かりにくい内容を理解するのに役立つ。見学地について理解が深まれば自分が見学地で何を中心に見るかという見学の視点を明確にもつことにつながるのであろうと考えた。また、資料集を Web 形式で作成すれば、コンピュータを用いて個々の興味・感心に応じた情報を効率よく収集することができる。普段なじみのない用語などもリンクを設定し関連づけを図ることで繰り返し意味を確認することができる利点もある。

以上のことから、鎌倉市の寺社について見所や寺社そのものについての知識を児童に分かるように簡潔に示した資料集があれば、修学旅行の事前学習に役立つと考え、本主題を設定した。

研究のねらい

修学旅行の事前学習において、児童が見学地について理解を深め、見学の視点をもちることができる資料集「いざ！鎌倉」を作成する。

研究の見通し

鎌倉市の主な寺社の見所や寺社についての基礎的な知識を簡潔な表現で Web 形式でまとめれば、鎌倉修学旅行の事前学習において書籍やインターネット上の情報と補完し合い、見学地について理解を深め見学の視点をもつことに役立つ資料集が作成できるであろう。

研究の内容

1 資料集『いざ！鎌倉』の概要

(1) 基本的な考え方

ア 見学地について理解を深めるための工夫

難しい文章表記や長い文章による詳しい説明は、児童にとって内容を捉えにくい。そこで、本資料集では、説明をできるだけ簡潔に短い文で示し見学地の概要を捉えやすいようにした。しかし、見学地の概要を捉えただけでは、その歴史上の価値や建造物等の特徴を十分理解したとは言い難い。とりわけ寺社建築や仏像については日頃馴染みがなく分かりにくい。そこで、見学地について理解を深められるように、関連した人物の知識や寺社についての基礎的な知識を必要に応じて入手できるようにし見学地について理解が深められるようにした。

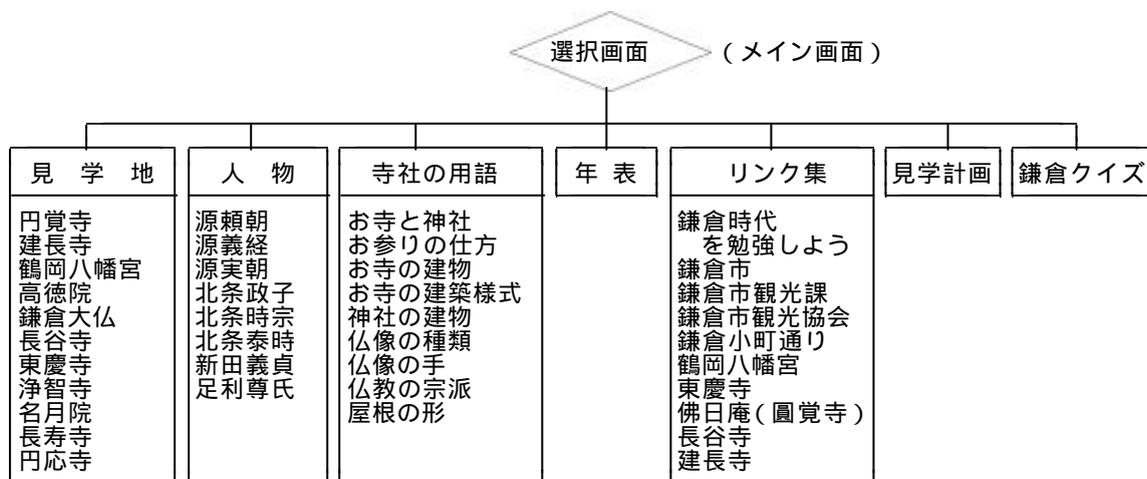
イ 見学の視点をもつための工夫

それぞれの寺社に歴史があり敷地内には複数の建物や仏像が存在するが、児童に必ず見てほしい貴重な文化財は数限られている。寺社の解説文は文章が長く重点がとらえにくい面がある。そこで貴重な文化財、社会科の学習との関連、景観などの観点に分けて見所を簡潔に大きく示し、児童が見学地で何を中心に見るかという見学の視点をもちやすいようにした。さらに、主な寺社の重要な文化財については、現地で実物を見なければ確かめにくい質問を用意して興味・関心が高められるようにした。

ウ 見学計画の作成を容易にするための工夫

見学計画では、各見学地へ移動が効率よく行われるように見学順を考える必要がある。そのために寺社や史跡の位置関係をとらえられるように正確な地図を用意した。さらに、日程の作成にあたっては移動時間の目安を示すとともに時間の計算機能をもたせることにより、調整を短時間で行えるようにした。

(2) 構成



2 資料集の内容

(1) メイン画面・選択メニュー



図1 メイン画面 選択メニュー ゼンリン電子地図帳Z 首都圏版 ZPR-020419003

鎌倉市の正確な地図を表示し、各寺社や史跡の位置関係を捉えらるようにし、見学計画の作成の参考になるようにした。地図は地図ソフトメーカーの使用許可を受け、地図画像を見やすいように加工したものを用意した。また、地図上の寺社・史跡名をクリックすることにより、見学地のページを見ることができるようになった。画面の上端に選択メニューを作り、調べたい内容について現在見ているページ上でいつでもクリックすれば見ることができるようになった。そのために選択項目の多い見学地・人物・寺社の用語については、プルダウンメニューにより選択できるようにした(図1)。

(2) 見学地



図2 見学地

児童が見学地の見所を一目見て分かるように「国宝」「社会科」「国重文」「景色」などの観点に分けて示すようにした。そして見所のキーワードの文字を大きく表示し捉えやすくした。さらにキーワードの中で人物名や寺社建築等に関する用語には、人物・寺社の用語のページにリンクを設定した。このように、説明文を簡略化して見やすく分かりやすくし、必要に応じてキーワードをクリックすることにより理解を深められるようにした。これにより、他の資料で見学地について調べている際にも用語の意味を確認することが容易にできる。また、代表的な寺社については、見所となっている建造物等に関するクイズがある。写真をもとに現地を調べないとわかりにくい内容にして、印刷して携帯できるようにした。また、写真は建造物等の一部分を利用し全体像についての関心をもてるようにした(図2)。見学地の解説の下には「くわしく調べよう」「必ず見てきたいこと」という欄を設け、印刷すると簡単な調べ学習用のワ

ークシートとしても利用できるようにした。

(3) 寺社の用語

鎌倉における見学地の多くは寺社である。しかし、神社やお寺については、年中行事等で関わることもあるが、日頃関心は薄く知識も少ない。寺社に関する解説は、児童向けの簡単な記述が少なく、特別な用語が多い上にその用語についての解説も少ない。用語の意味を正しく捉えることは見学地の説明を理解することにつながる。そこで、「神社の建物」「お寺の建物」「仏像の種類」等、内容のまとまりごとにページを構成し、関連した用語を図を用いながらまとめて説明することにより基本的な知識や用語の違いをとらえられるようにした。また、関連した建造物等が見られる鎌倉市内の寺社名を示し、見学地について興味・関心を広げられるようにした(図3)。

(4) 人物

鎌倉市は、鎌倉時代の武家政治の中心となった都市で、見学地は源氏や北条氏に関係したものも多い。関係した人物について理解を深めることは、見学地についての興味・関心を深めるだけでなく、社会科の学習との関連を図り歴史的な価値について認識することにつながる。人物については、鎌倉時代や寺社・史跡に関係した主な人物について、業績を大きく示し、大まかな特徴をとらえやすくした。その他の業績は箇条書きで示し、発展的に調べる際の手がかりとなるようにした。また、主な人物では、イラストにより人物のイメージを広げられるようにした(図4)。



図3 寺社の用語 (知識)

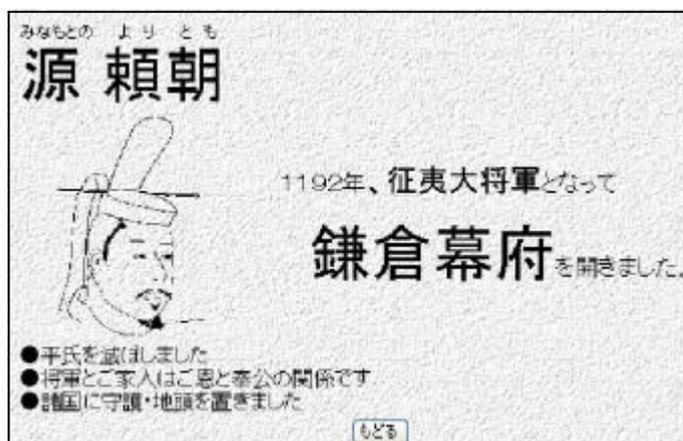


図4 人物

(5) 年表

鎌倉時代のことを中心とした年表で、歴史上の大きなできごとだけでなく、見学地に関するできともわかるようにした。また、表中の人物や寺社名には人物・寺社のページにリンクを設定し確認できるようにした(図5)。

(6) リンク

鎌倉市は有名な文化財の多い観光都市で関連したたくさんのWebページがあり、調べ学習における情報収集に適している。しかし、内容の信頼性も考慮し、主に公的な機関のWebページや寺社が出している公式ページを中心にリンクを設定した。また、交通手段や移動時間についての情報も収集できるように配慮し、見学計画の作成にも役立てることができるようにした(図6)。

(7) 見学計画

見学時間、移動時間を入力すると到着・出発時刻を自動計算によって示すようにし、日程の調整が容易にできるようにした(図7)。また、「鎌倉五山」「名鐘」「やぐら」等の内容別見学地例や一般的な見学コース例を移動時間のめやすを入れて示し、計画立案の参考となるようにした。

(8) 鎌倉クイズ

鎌倉時代や鎌倉市のことについて楽しく知識を深められるようにクイズを設定した。内容は鎌倉時代のできごとや鎌倉の寺社・史跡の見所に関するもので、多くの問題をランダム出題し、正答率を表示することにより児童が飽きずに挑戦できるようにした。(図8)。

時代	西暦	こと	が	ら
奈良時代				
	734	杉本寺が建つ(伝)		
	736	長谷寺が建つ(伝)		
平安時代				
	1063	源頼朝、京都の石清水八幡宮を由比郷鶴岡に勧進し鶴岡若宮とする		
	1147	源頼朝、誕生		
	1180	源頼朝が挙兵		
	1185	壇ノ浦の戦いで平氏滅亡		
		源頼朝、腰越状を書くが頼朝は鎌倉入りを拒否		
	1186	静御前、捕らえられて鎌倉へ送られる		
	1189	源頼朝、永福寺を建て始める		
鎌倉時代				
	1192	源頼朝、征夷大将軍となり鎌倉幕府を開く		

図5 年表

鎌倉時代の勉強をしよう	http://www.tamagawa.ac/
鎌倉市ホームページ	http://www.city.kamakura.jp/
鎌倉市観光課	http://www.city.kamakura.jp/kankou/
鎌倉市観光協会	http://www.kcn-net.org/kamakura/index.html
鎌倉小町通りのホームページ	http://www.kamakura-kocho.com/
鶴岡八幡宮	http://www.hachimangu.com/
東慶寺	http://www.tokeiji.com/toketempel.html
佛日庵(圓覚寺)	http://www.butsunichian.com/
浄土宗鎌倉海光山慈照院長谷寺	http://www.hasedera.jp/

図6 リンク

見学地	到着時刻	見学時間	出発時刻	移動時間
北鎌倉駅	9時 0分	0分間	9時 0分	1分間
円覚寺	9時 1分	30分間	9時 31分	3分間
東慶寺	9時 34分	20分間	9時 54分	13分間
建長寺	10時 7分	20分間	10時 27分	16分間
八幡宮	10時 43分	分間	10時 43分	分間
	10時 43分	分間	10時 43分	分間
	10時 43分	分間	10時 43分	分間
	10時 43分	分間	10時 43分	分間

図7 見学計画

八幡宮の大イチョウ、ここに隠れて、源実朝を暗殺したといわれているのはだれ？

源頼朝 静御前 公暲

はじめる

問題は全て終わりました。
正解率は 92% です。
すばらしい めざせ 100% !
再挑戦する場合は「はじめる」を押して下さい。

図8 鎌倉クイズ

3 実践

(1) 実践の概要

本教材は、鎌倉修学旅行に向けた調べ学習の中で、本やインターネットと併せて活用することができる。本校は、6月に修学旅行を実施しており、本資料集を事前に行う調べ学習として利用することはできなかった。そこで、実施後の6学年を対象として試用し、事前に行う見学地の調べ学習における本資料集の有効性についてのアンケート調査を行った。

(2) アンケート結果と考察（6年児童28名対象）

ア 見学地に対する理解を深められるか

「説明が短く、簡単でわかりやすい」「寺社の用語の内容は、調べるのに役立つ」「お寺や神社について今までに知らないことが分かった」と答えた児童が過半数を超えた。既に修学旅行を実施している児童でもあり、見学地のページの内容を短時間にとらえる姿がみられた。さらに詳しい情報を望む声もあり、知的な好奇心をゆさぶることができた。「本やインターネットで調べる学習の手助けになると思う」と考える児童も多く、他の情報と合わせながら理解を深める上で役立つとも考えられる。また、鎌倉クイズには意欲的に何度も挑戦する児童も見られ、楽しみながら鎌倉についての知識を身につけることができた。

イ 見学の視点をもてるか

「見学地にどんなものがあるか分かりやすい」「何で有名なのか分かりやすい」と答えた児童が過半数を越えた。特に自分が行った見学地のページは熱心に目を通し、「自分が行った見学地で、もっとよく見ればよかったと思うところ見つけた」とう児童もいた。見学地のページに載せた文化財に関するクイズへの関心も高く、答えについて意見交換をする姿もみられた。クイズの正しい答えを知りたいという気持ちも見学地に行く目的意識を高めることにつながると考えられる。

研究のまとめと今後の課題

本資料集は、鎌倉修学旅行の事前に行う調べ学習において、児童が見学地についての理解を深め、見学の視点もてるようになることをねらったものである。寺社についての特別な用語の解説を提示したことにより、分かりにくい寺社の説明を理解することができた。他の資料の補助資料としても活用できる内容である。また、見学地の見所を簡潔な記述で観点別に強調したことにより児童は各寺社の見所を容易に捉えることができた。短時間で数多くの寺社を調べることができ、各寺社を比較しながら違いを明らかにすることもできた。そして、各寺社の見所を明確に捉えられたことにより、児童の実物に対する興味・関心を高めることができた。このように、本資料集は見学地の理解を深め見学の視点をもつ上で有効であるといえる。また、見学計画作成のページを便利と感じた児童も多く、本資料集を使用することにより関心を高めながら効率よく調べ学習や見学計画の立案を進めることができると考えられる。今回、本資料集を試用したのは既に調べ学習・修学旅行を終えて鎌倉についての予備知識が豊富な児童であり、実際に授業で活用する中で課題がはっきりしてくるものと考えられる。今後、他の資料との関わりの中でどのような場面でのどのように活用していくことが効果的であるかを実践を通して明らかにし、改良を加えていきたい。

< 参考・引用文献 >

- ・ 神奈川県高等学校教科研究会 社会科部歴史分科会 『鎌倉散歩 24 コース』(株) 山川出版社
- ・ 発行者 伊藤玄二郎 『鎌倉の寺 小事典』 (株) 鎌倉春秋社